

# 新春



館報 まつかわ

平成21年 元旦  
松川町公民館報  
第543号

「うしの工作」(編集部員作)  
[指導 図書館:下平富士子さん]



# モー わしゃあが主役



2008年12月23日 訪問



日向ぼっこに行くよ

●牛舎  
昭和51年まで養蚕室だった家屋を牛舎にしている。ラジオの音が流れる牛舎には30頭の母牛がいて日々乳を出している。牛舎の一角では発情期を迎えた牛が鳴いていた。子牛、出産前の若牛などを加えると総勢48頭の大所帯。



牧場主の橋場さん

●酪農家の1日  
搾乳。12時間ごとに1日2回。朝5時〜7時、夕方5時〜7時。夕方の乳搾り後には寝床掃除などでさらに1時間ほどかかる。  
本日の出荷量は1,525リットル(1日約800リットル) 風呂桶約3杯分である。

●成長過程  
人工授精を行うと、人間と同じく10ヶ月と10日ほどで子牛を産む。産まれた牛の体重

●放牧場(パドック)  
牛が草を食べ尽くさないように幾つかの区画に区切り出産前の牛が放牧されている。首輪のついた牛は出産経験があり首輪の無い牛はこれから子を産む牛。牛は群れで行動し、何頭かリーダー格がいて群れを率いている。



ステキなまようでしょ?



みんな仲良し



ねえねえ、おやつ〜?



お姉さん、いらっしゃ〜い

は45キロ程度。2・3ヶ月で80キロまで成長。生後3ヶ月過ぎると除角される。雄の子牛は北海道へ送られ(肉用)、雌のみが牧場で育てられる。大人になると体重は650キロにもなる。その後2ヶ月で発情期を迎えるので再び人工授精を行う。1年に1度出産させるのが理想とされている。ずっと乳搾りを続けると牛が痩せるので、出産2ヶ月前は搾乳を休ませて放牧する。

●ホルスタインの特徴  
六白(額と尻尾4本の脚が白く、舌はピンク色をしていること。耳には10桁のバーコードを記したタグがついていて、日本国内の牛は全てこの個体識別番号で管理されている。このシステム導入前は牛の体の斑紋を1頭ずつ手書きで記していた。



冷凍保存のお父さん



まだ赤ちゃん



ここで搾乳します

世界に名を馳せるスポーツカメラマン水谷章人さん：高校時代の一時期を我が町に暮らした縁もあり今回の講演が実現した。講演に合わせて作品の展示も行われ、世界のスーパースター達の迫力溢れる姿に見る者は圧倒された。



高校卒業後上京し入学した写真学校時代。体力と運動神経を買われて中日新聞のプロ野球（巨人担当）に雇われる。でも夢は「山岳写真家」2年で辞めて夢追って山へ：そこでプロスキーヤーの杉山進さんと出会う。志賀高原での3年間。30歳のとき東京で開いた個展で受賞しプロの道を確立したが、妻との約束で30までに大成せねば写真を辞めることになっていた。危ない所であった。その後、日本と海外を行ったりきたり。移動が大変だったので、フランスはモンブラン山の麓シャモニという街に居を構え、ここを拠

**まつかわ大学 第Ⅲ講座**  
12月6日(土) PM1:30~

**世界のスーパースターを撮る**

講師：水谷章人氏

点に世界を駆け巡ることになった。ここからは楽しいスライドショー。水谷さんの作品を見ながら世界のスポーツ選手達の興味深いエピソードが次々と語られた。素晴らしい出会いの数々。40年撮っているとは大きな失

敗もある。撮ったフィルムを途中で感光させたり、フィルムを入れ忘れたり。カメラを忘れて海外に行ったときは、同行者のコンパクトカメラで撮影：失敗だけで本が出来るくらいだ：明るく語る水谷さん。どんな逆境にも決して諦



めない強さと前向きさが彼の名作群を生んだのだろう。今、水谷さんは伊那の自然を撮っている。次は伝統芸能を撮りたいという。「生きていれば」その次は人々の生活を撮りたい。夢は広がる。この故郷のために何かしたい：小学生を対象に写真の指導も始めた。水谷さんの暖かい視線は郷土の未来を担う子ども達に注がれている。「子ども自身が気づいていない才能・個性をまわりの大人が見つけて伸ばしてあげることが大事：この町からもスーパースターが出るかもしれない！」

「クローズアップの水谷 その瞳は少年の希望に満ちた輝きをいつまでも失わないのだ。」

**食の聞き書きの会 料理教室**  
**くるみ入りスイート作り** 片桐喜代子

スイートは多くの人達が食べた事があるがくるみ入りスイートは食べた事がないので食べてみたいと言うのが、講習を開ききっかけとなった。講師は生田の松沢百合子さん。今回は一般の方の参加が少なめでしたが、聞き書きをした人達は先人達が作ってきた「食文化の知恵を伝えてゆけることが出来たらいいな」ということで実施した。

今は人の集まる会は家ではなく外へ出て冠婚葬祭はやってしまうので、若い人達に伝える場が少なく伝えることができない。昔は家で料理人をお願いし、組合の人達にも手伝ってもらって料理を出した。そこで料理をする人に、揚げ物は材料を冷やし、冷えたビールで衣を作るとカラッと揚がるとか、煮物は煮くずれしない物、味の付けにくい物を鍋の底に入れて煮ると味が付きやすい、などなどそういう場で教えて頂いたものですが、今はそうした機会が少なくなりました。

「頑張って暮らしたんだに」聞き書きの中から、若い人達に伝える2回目を計画しておりますので2月中下旬には一般の皆様参加を希望致します。松川町、食の聞き書きの会発行の「頑張って暮らしたんだに」の本が再発行されました。古老が語る暮らしの歴史、この地に受け継がれた食事と行事、「ハレ」の行事食「ケ」の日常食、その他が書かれています。

家族の健やかな暮らしを願い、安心の郷づくりを願って日常食に工夫をこらし、行事を守り営んで来たこの冊子は苦難の暮らしの歴史でもあり心豊かに生きた生活詩でもあります。より多くの地域の皆様に、読んで頂きたいと思えます。



# 名子公民館 家庭教育 学習会

12月14日、名子公民館にて家庭教育学習会が行われました。

名子公民館と名子子ども育成会の共催で、今年もおやす作りと餅つきが行われ、120人程が参加されました。

まず始めに、お正月についての講話が行われました。お正月には神様が家に来ると言う言い伝えがあり、正月かざりは神様が家に来る為の目印になり、「おやす」は神様が使う器で昔は米や昆布を入れて奉ったそうです。

次におやす作りが始まりました。講師の方の説明の後、まずはワラを編む工程から始まりました。解らない人も、講師の方や公民館の役員の熱心な指導により作る事ができました。また今年はじめ縄作

りも少しやりましたが、こちらはコツがいる感で難しかったようです。今回使われたワラは、このおやす作りの為に夏から準備されていた物で良い正月飾りを作る事ができました。



次に子供達は外へ出て、餅つきを行いました。ある程度、餅の型になったら子供達の餅つきがスタートしました。力いっぱいつける子もいれば、餅の弾力に跳ね返されてしまう子もいましたが、2人掛かりや大人の協力もあってつく事ができました。外は寒かったですですが、「ヨイショ」と言う掛け声に合わせて元気に楽しそうでした。最近餅つきを家庭でする機会が無い事もあってか、子供の餅つきを写真に撮る方も大勢おられました。

た。寒い中でしたが、餅が固くなる前に無事体験する事ができました。餅つきが終わった後は公民館



に戻って、つきたての餅を全員でいただきました。役員の方々が、あんなこと大きな粉を用意して食べやすい大きさに切ってくれてあり、自分達でついた餅と言う事もあり、何個もおかわりをする子供もいました。

今回の学習会も大勢の子供の参加がありました。おやす作りと餅つきを同時に行う事で参加者が多いと言う事です。今年は、お正月についても学べて勉強にもなりました。子供達にも、良い経験になったと思います。役員の皆さんの準備もよく楽しく終わりました。

## すぐに振り込まない 一人で振り込まない 「犯罪被害に遭わない為に」

12月21日(日)部奈文化伝承センターで、部奈公民館家庭教育講座が開催されました。飯田警察署生活安全課長・玉城邦夫さんを講師に迎え、全国で多発する振り込め詐欺事件に対する日ごろの心構えを聞きました。



講師の飯田警察署生活安全課長 玉城邦夫さん

振り込め詐欺の被害は全国で拡大しています。県内の平成20年の被害総額は3億円近くになると予想されます。似たような犯罪は昔からありましたが、大きな違いは被害額の大きさです。

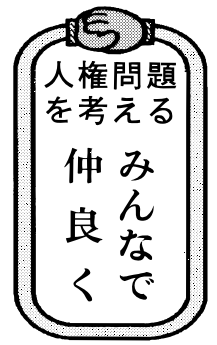
現在、飯田警察署では犯人を捕まえることが非常に困難な事件であるため「防ぐ」ことに着目し、みなさんに注意を促しています。「振り込め詐欺」にはみなさんよくご存じ

のオレオレ詐欺のほか、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺があります。いずれにも共通しますが、決して自分一人で判断をせず、第三者の誰かに相談することが肝心です。

世間でこれだけテレビや新聞で報道され、みなさん十分な知識があるはずなのになぜだまされるのか。それは「人ごと」だからです。自分は大丈夫、関係ないと思っている人は100%だまされると言っているでしょう。考え方を変えて、自分のところに「振り込んで」と電話などがあつた時にどうしたらよいかを、ふだんから想定しておくことが被害に遭わないために最も大切なことです。



さまざまな実例を交えながらの分かりやすい話、参加者はメモを取りながら耳を傾ける



人権教育講演会を聞いて

中学2年 後藤 拓哉

講演会をお聞きしてまずは「中学生日記」の事でした。その中で「中学生日記」の出演者は、全て中学生だと聞き、さらにほとんどの人が芝居の経験がないと聞いたときは自分と「中学生日記」に出ている所以外はあまり変わらないなと思いました。他にも、後半は「いじめ」についての事をよくやっていました。僕は、今年の会長選挙の演説でも、「いじめ」の事がありました。ほんの少しの人でも「いじめ」にあった事があると考えると、時間を取ってみんなで考えたいと思いました。

は、最低だなと思いました。目指すべきは、「いじめ」のないクラス、学年、全校だと思いました。講演会でお聞きした事をいかして、「人権」を大切にしたいと思いました。

人権講演会の感想

中学2年 宮下 一輝

僕は、今日講演をお聞きしてテレビでも人権についてしっかり考えて放送していて、しかも、もつと意識を高めたり、みんなの意見を参考にして番組をつくっていて、僕が思っている以上に人権を大切にしているのすごいと思いました。

僕は、出演者の人達がいじめや、あんな事をした、受けなどということをやなにもかも隠すことなく話せるということは、とてもすごい事だと思いました。また、僕は人に話したいという気持ちにはあまりならないけど、そういう人の考えをわかりたいと思いました。

講演会で思ったこと

中学2年 網野 可菜

中学生日記は実話をもとにした現役中学生のお話だと聞いて実際にこういうことがあるんだなと思った。

いじめについてはひどい時代があったことを知ったし今もまだ身近であると思う。いじめている方には何かやみがあるのではないか……たしかにそう思う。いじめをされたからやり返す、そしてまたやり返される、そのくり返しが一番いけないことだと思う。誰かがとめなければやめられない、自分で気付くことができない、それがこわいと思う。自分には孤独な時間が足りないと思った。

一人で考える時間がどんなに大切か……もつとしつかり知り、そんな時間をつくりたい。



松川町の文化財

(356) 埋蔵文化財 (254)

文化財シリーズ

大島城(19)・低い城の防御施設としての丸馬出

教育委員会 酒井幸則

大島城の立地を大きく見ると、古町大地の先端部が天竜川に向かつて半島状に突出した部分が城として利用されていることがわかります。そのため、城のある部分は大地よりわずかに低い部分となります。城というものは一種の避難所でもあり、第一に防御面が重視されるので、平地上の小山など、基本的には日常生活空間より高い部分に造ります。しかし大島城の場合、三方は自然が形造った要害に堅固な普請を加え、この方向からの敵の侵入を拒んでいますが、正面口、即ち大手の部分は相当に堅固な防御線を構築する必要があります。そのため、幅が広く深い外堀と、その前面に特徴的な丸馬出が設けられたのです。また城内側には外堀を掘った土を高く盛り上げて巨大な土塁を

構え、堀面からの敵の侵入を拒むとともに、弱点である低い城内の様子を外側(大地側)からは見えないようにしています。この土塁は一種の犬走りを備えた二段構えの巨大なもので、最上部には頑丈な板塀などが巡らされ、両端部に櫓(矢倉)が建てられています。

戦闘時、「攻め上がる」と「攻め下る」のでは、その威力に相当の差があります。攻め下る方は勢いも付き奇襲戦にはよく用いられますが、一方、攻め上る方は犠牲が多いため相当の兵力を要し、一般的には不利と言われます。このような戦の鉄則から、敵が攻め下ってきたことを考慮し、弱点である低い城の防御線として構えられた大島城の丸馬出は効果的な施設と言えます。

# 寒さに負けず運動するよ!!

## 平成20年度飯伊三バスケ トボール松川優勝大会

去る12月7日、飯伊ミニバスケットボール松川優勝大会が、町体、中学校、中央小体育館を会場として開催されました。

- 〈男子高学年〉 優勝：松川
- 〈女子高学年〉 優勝：松川
- 〈男子低学年〉 優勝：松川A  
4位：松川B
- 〈女子低学年〉 準優勝：松川

## 松川町男女別ダブルス バドミントン大会

12月14日、町民体育館において松川町男女別ダブルスバドミントン大会が、松川町バドミントン協会の主催で開催されました。

- 男子25チーム50人、女子29チーム58人合計54チーム108人で試合が行われました。
- 男子の部**
- 〈Aブロック〉
- 優勝 小原 拓也・湯沢 昂平  
(松川高校B・C)
- 準優勝

中川 昌弘・中島 伸  
(松川高校B・C)

第3位

佐々木章吾・佐々木賢吾  
(多摩川精機)

〈Bブロック〉

優勝

米山 正彦・小野川幸洋  
(名中B・C)

準優勝

森 日出登・斉藤 和勇  
(桑園B・C)

第3位

巻井 幸夫・松下 忠雄  
(松川B・C)

〈Cブロック〉

優勝

知久 仁司・片桐 清隆  
(JAみなみ信州)

準優勝

宮下 俊希・宮下 幸久  
(名子B・C)

第3位

魚田 太郎・寺沢 正成  
(松川高校B・C)

**女子の部**

〈Aブロック〉

優勝

井口きよ子・中山真理子  
(松川B・C)

準優勝

北沢 友美・佐藤 優  
(多摩川精機)

第3位

水田 友美・桃澤 藤子  
(名中B・C)

〈Bブロック〉

優勝

松下 睦規・宮崎真理子  
(名子B・C)

準優勝

森下 淳子・北沢 真希  
(ジョイフルB・C)

第3位

坂本 紅音・大場 麻也  
(名子B・C)

〈Cブロック〉

優勝

小原 鈴子・小原 梨紗  
(松川町ジュニアB・C)

準優勝

宮下 彩夏・松下 恵美  
(松川町ジュニアB・C)

第3位

宮下百合子・片桐 知佳  
(松川町ジュニアB・C)

## チャリティーコンサート 開催される

11月29日(町民体育館)

「老いも若きも住みよい町づくり」をテーマに、松川芸能うたと踊りの会(三浦秀夫会長)主催のチャリティーコンサートがこのほど開かれました。そして、必要経費を除く収益金が松川町社会福祉協議会へ寄付されました。



## 本館行事

### へまつかわ大学 第4講座

日時 2月21日(土)

午後1時30分

演題 「頭イキイキ、血液サラサラの食事法」

講師 食文化研究家 永山久夫氏

会場 町民体育館

トレーニングルーム

## 俳句

那須野令子

山峡のせせらぎ聞きて牡丹鍋

やわらかき風の道あり梅ばやし

おうなたち四五人寄りて日向ぼこ

冬の鳥赤き実くわえ飛び立ちぬ

光芝が山脈とかし年明け

## 短歌

吹雪 田村三好

父祖の店絶つは是か非か初春の  
千年杉に伺い申す

九年目の夫の忌の日に生れきたる  
嬰兒「流和」は申し子ならん

「鹿の肉あり」と記せる貼り紙を  
煽りて荒るる溪の地吹雪

中ジョッキ二杯越ゆれば何もかも  
思いの儘になる心地せり

田の神に酒運びゆくわが肩を  
濡らして春のみぞれ降りくる



情報



**学ばせて頂いた14年間**  
 長野県公民館活動推進功労者表彰受賞  
 前本館社会部 米山春彦さん



公民館の社会部員として14年間活動され、このたび長野県公民館功労者表彰を受賞された米山春彦さんに、りんごの出荷で忙しい中、公民館活

動の思い出を伺いました。地域の先輩に誘われ社会部に入部したのが、その後の公民館活動の始まりで、活動の中で「世代を越えた付き合いが広がり、皆様に様々なことを学ばせて頂いて感謝しています。」と語る米山さん。14年の活動で一番思い入れがあるのが成人講座で、「毎年趣向を変えて、時代に合った話題性のあるものに取り組みたと



**公民館活動を振り返って**  
 長野県公民館活動推進功労者表彰受賞  
 前本館体育部 宮下剛彦さん



昨年度をもつて15年間の公民館活動を終えられ、このたび県公民館功労者表彰を受賞されました宮下さん。

公民館活動を振り返っていただきましたが、体育部員と

して活動してきて松川町のスポーツ活動に少しでも貢献できた事が喜びだと話してくださいました。中でも駅伝大会が印象が残っているそうです。駅伝と言えば、一昨年の中学生の活躍があり、そして今年も全国高校駅伝で松川中出身の選手が走ったりと、明るい話題が多いです。松川町の駅伝大会は今年で24回目になり、宮下さんは部

思う」と語られました。公民館活動の今後については「公民館活動に参加し、一人一人が前向きに取り組む姿勢があれば、地域の衰退は無いと思う。そのためには、まず自分のために気楽に参加してもらおう、それが豊かな心を育み、地域づくり人づくりに繋がっていく」と真剣に語ってくれました。

農業者組織の立役者として活動されている米山さん。今後も地域リーダーとして活躍されることと思います。員として15回と辞められた今年も役員として参加されています。主催する側としては回を重ねる事に問題点や改善する事があり大変だったとの事です。しかし、参加者や町民の協力があり、また子どもから大人まで多くのチームの参加があつて町の大きなイベントになり、そして駅伝という同じ競技で松川町出身者が活躍されている事で、一番心に残っていると話してくれました。

長い間、仕事と家庭のある中、公民館活動大変だったと思います。お疲れ様でした。



**2学期の思い出の俳句**  
 北小3年生一同

- 秋になり  
 マラソン大会タイムのび  
 上沼 咲紀  
 運動会秋晴れ空に一等しよう  
 片桐 吉美  
 サンタさん早く来ないか  
 プレゼント  
 宮澤弥那帆  
 2学期も残り2日次は3学期  
 北島 龍  
 友だちとねいっばい遊んで  
 なかよしだ  
 代田 裕也  
 友だちといっばい話せた  
 2学期だ  
 大澤 真由  
 きれいな葉きれいな水に  
 うつつてる  
 丸山 諒  
 友だちとね遊ぶ時間を大切に  
 松下 直樹  
 友だちと先生とねえ遊んだよ  
 日高 健成  
 クリスマスサンタに手紙  
 プレゼント  
 岡部 琴  
 麦ふみは麦をふむなり楽しいな  
 宮下 友希  
 友だちは一生大事な宝物  
 原 美里  
 くろはおばあちゃんねこで  
 わたしとまみがごはんをあげてるね  
 市瀬 まや  
 遊びはねみんなといっしょ  
 宮澤 翔伍
- シユートボールパスができたよ  
 うれしいな  
 清水 悠  
 みんなとね元気いっばい楽しいな  
 矢澤 菜緒  
 大そうじみんなでもやれば  
 きれいだね  
 伊藤 玲海  
 大そうじしつかりやって  
 ピッカピカ  
 宮下 詔  
 リコーダーテストで合かく  
 うれしいな  
 松尾暁季野  
 遊びの日え顔でみんな楽しいな  
 奥田 華帆  
 運動会玉入れとかが面白かった  
 宮原 満久  
 運動会かけっこ一等楽しかった  
 宮澤 啓太  
 青やぎ先生といっしょに遊べて  
 うれしいな  
 宮澤 采那  
 麦ふみは麦をふむからかわいそう  
 矢澤幸汰朗  
 みんなとね遊んだときが宝物  
 大澤 透子  
 みんなはねいいこといっばい  
 あるんだよ  
 下村 一雄  
 運動会大玉いっばい転がした  
 山尾 杏  
 色々な思い出いっばいありがとう  
 大久保美咲  
 友だちといっしょに遊べば  
 楽しいな  
 森下 瑠偉  
 みんなとね元気に遊んで  
 うれしいな  
 中平 愛音  
 おそうじをむ言でやれば  
 ピカピカだ  
 松沢 唯斗  
 遊びの日みんなでも遊んで楽しいな  
 神部 碧衣



### 町の古民具 ④「ひょうたん」

視点

中の種などを出し、水や酒などを入れた。古くから縁起が良いとされ、飾り物としても使われた。



# 声

## お正月かざり教室

ゆざわ ひろき

ぼくは、お母さんといっしょに初めてお正月飾りを作りに行きました。

先生に教えてもらいながら『おやす』を作ったけど、1回目はゆるくなってかつこわるくなりま

した。でも、3回作るとだんだんじょうずに作れるようになりました。先生やお母さんに「上手にできたね。」と言われてうれしかったです。家に帰っておじいちゃんに見

せたら「上手にできたしやん。来年はいい年になりそうだ。」と言ってくれました。

『おやす』を作るのはむずかしかったけど、上手にできたのは家の玄関にかざりたいです。

## お腹も心も満足満足!!

宮 沢 明 歩



上手に出来るかな

12月21日に上大島公民館にてワラ細工、リース作り・餅つき大会がありました。今年、公民館部員として、初めて参加しました。まず、子供達に交じって、おやす作り、やってみるとワラの感触、温もりがどこか懐かしく感じられ夢中になりました。リース作りも大人も子どもも楽しそう。どれもすばらしい創作作品が出来上がりました。その後外で、餅つき大会、みんな列になって順番待ち、番が回って来ると楽しそうにしています。ついたばかりの餅を食べながらの交流…。今回参加して、物づくりの楽しさ、人々とのふれ合い、五感で季節を感じられる、楽しく温かい時間を過ごせました。

何でもお金で買える時代です。忙しいめんどくさい、ではなく、残していかななくてはならない伝統行事の一つだと思います。

お腹も、心も、満足し自分達の作った力作をお土産に、うれしそうに家に帰る子ども達の姿でした。

みなさんも来年は、参加してみてはいかがでしょう。

## お 礼



わらで作った「うし」を、どなたかが公民館のロビーに飾ってくださいました。ありがとうございました。

# 草

平成21年。新しい年を皆さんどのように迎えられたでしょうか。

20年の12月は経済状況の悪いところが一気に出たように重く暗いニュースが続いてメディアを賑わしました。大手企業社員の大量解雇問題。特に派遣社員の皆さんが解雇され住んでいた社員寮も出ざるをえず住む所も無くなるという二重の悲劇の報道も多くありました。

派遣社員がこれだけクローズアップされたのもこれが初めてではないか、と思います。

私達の生活にも不況の波がおしよせて来ていますが、実際のところはいつもと同じ生活を続けていて解雇された人達を気の毒に思いながら他チャンネルのお笑い番組に大笑いし、クリスマスイルミネーションに感激している自分がいるのです。

不況だけではなく内戦に苦しむ国の悲惨な人々、飢餓の犠牲で亡くなる子供達などを、いつもの生活を何事もなく過ごし忘れてしまっている自分がある…。

今の自分には何も出来ないけれどせめて心の中に日本や世界の出来事を書き留めておこうと思います。

宮下和子

公民館報 「まっかわ」 第 543 号 平成21年1月15日

発行所 松川町公民館  
責任者 塩澤三佳  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)